

事務事業名		広報大船渡発行事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	0:8: 自立した行政経営		事業期間		予算科目						
	施策名	3:6: 市民参加の推進と協働体制の構築				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 S27 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	0:1: 行政の透明性確保と市政への市民意見の反映 0:1: 促進		01	02		01	02	03			
根拠法令												
所属	部課名	企画政策部秘書広聴課										
	係名	広聴広報係	電話	0192-27-3111								
			内線	282								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)						
市民にさまざまな行政情報を提供するため「広報大船渡」を発行する事業。 広報大船渡は、各課からの記事提供と広報マンの取材により掲載内容を決定し、DTPで印刷原稿まで編集・作成するとともに、印刷製本業務は市内印刷業者に発注している。毎月5日と20日(お知らせ版)に発行、必要に応じて特集号を発行し、市内全世帯と国や県の出先機関、学校などに無料配布している。 「広報大船渡」には、市政の動きをはじめ、催し物や健康診査・予防接種の日程、休日当番医など、日常生活に欠かせない情報を掲載しており、全世帯には行政連絡員を通じて配布している。 平成14年度から市ホームページにPDFにより閲覧できるようにしている。						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金				
							財源内訳	都道府県支出金				
								地方債				
								その他				
								一般財源				
								事業費計(A)				0
人件費	正規職員従事人数											
	延べ業務時間											
	人件費計(B)				0							
	トータルコスト(A)+(B)				0							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
原版作成は、パソコン(DTP方式)で行っている。印刷製本業務は市内の印刷業者に発注している。定例広報は、24回発行。特集号は、予算事業1回、新まちづくり2回、決算特集号1回、計4回		ア	定例広報の発行回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 同上		イ	特集号の発行回数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・市民等		ウ	平均配布世帯数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・市民等が知りたい情報、あるいは、市が市民に知ってほしい行政情報等を、市民にタイムリーに知っていただく。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 行政情報の市民との共有により、市民参加の市政を推進する。		カ	市民等
		キ	
		ク	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	閲覧率(閲覧者/行政人口)
		シ	市政を知り、理解したと感じる市民
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					22年度(目標)	
			17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)		
投入量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	6,616	7,294	6,802	7,766	8,597	9,500
		事業費計(A)	千円	6,616	7,294	6,802	7,766	8,597	9,500
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	2,830	2,830	2,830	2,830	2,830	2,830
		人件費計(B)	千円	11,320	11,320	11,320	11,320	11,320	11,320
		トータルコスト(A)+(B)	千円	17,936	18,614	18,122	19,086	19,917	20,820
活動指標	ア	回	24	24	24	24	24	24	
	イ	回	3	3	3	3	4	3	
	ウ	世帯	14819	14789	14769	14817	14887	-	
対象指標	カ	人	43209	42575	42518	41684	41334	42000	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	%	85	85	85	85	85	85	
	シ	人	36728	36189	36140	35431	35134	35700	
	ス								

事務事業ID	0366	事務事業名	広報大船渡発行事業
--------	------	-------	-----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和27年の市政施行と同時に発行している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・平成14年度から市ホームページでも閲覧できるようになった。 ・過去には、月3回発行していた時期もあった。 ・全国でも情報公開の流れが進んでいる環境である。 ・以前は、原版作成は印刷業者で行っていたが、平成14年度からDTPを導入、パソコンにより、原版作成まで行っている。DTPの導入は経費削減に結びついている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・色覚障害者の方にやさしい紙面づくりについて、議員の意見がある。 ・情報面にも少し紙面を割いてよいのでは、もっと若い人が読みたがる内容にした方がよいのでは、各課で今一番取り組んでいる事などを特集しても面白いのでは、という市民の意見がある(市政モニターにて)	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 行政情報の市民との共有により、施策を市民に理解していただき、その結果、市民の市政参加の推進に結びつく。
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 行政情報を市民に提供することは市の義務であるし、市民が自己負担で民間(マスメディア等)から行政情報を得るものでもないで、妥当である。
	対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 「広報大船渡」で伝えている情報は、全市民が公平に知るべきものであり、現在、全世帯に配布し、全市民が閲覧できる環境となっていることは適切である。
有効性 評価	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 色覚障害者や弱視の方でも読みやすい紙面づくりや若い方が好んで読むような紙面づくりなどの検討の余地がある。
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 市民に行政情報を提供できないと、市民との行政情報の共有化が図られず、市民参加の市政運営が図られない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 行政情報は市ホームページを広報媒体として提供することもできるが、全世帯でアクセスできる状況になっていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 平成14年度から編集作業にDTP方式を導入したことから印刷単価が縮減され、事業費削減となった。 他に、事業費を削減する手立てとしてはページ数の縮小が考えられるが、縮小した場合は、掲載する情報量の削減となり、ひいては、市民への情報提供の縮小につながり、市民生活にも影響がでると考えられる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ ・DTP方式導入により原版作成(最終工程までパソコンで行っている)していることから、以前より所要時間が若干増しているにもかかわらず、H19年度には職員が1人減員されたことを踏まえると、これ以上、所要時間を削減することは困難である。 ・担当者は低賃金の職員が行っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ ・該当なし。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 特になし。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止   <input type="checkbox"/> 目的再設定   <input type="checkbox"/> 事業統合・連携   <input type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善   <input type="checkbox"/> 効率性改善   <input type="checkbox"/> 公平性改善 )       </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発行頻度を下げる(定例号と特集号の統合など)</li> <li>印刷業者との契約方法の見直し</li> <li>紙面の内容を絞る(印刷費の低減、業務時間の低減)</li> <li>市民が読みやすい紙面づくりを検討していきたい。</li> <li>紙質の見直し</li> <li>ページ数の見直し</li> </ul>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>・紙面の内容を絞るに関しては、市民の要望等を十分に配慮する必要がある。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	秘書広聴課
-------	-------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>適正な事務執行がなされている。市民が読みやすい紙面づくりへのくふうが求められる。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止   <input type="checkbox"/> 目的再設定   <input type="checkbox"/> 事業統合・連携   <input type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善   <input type="checkbox"/> 効率性改善   <input type="checkbox"/> 公平性改善 )       </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり継続して事業を実施する。常に編集をくふうし、市民が読みやすく、また、市政の状況をよく理解できる紙面づくりを心がける。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------